

倫理委員会議事録

○日時・場所

令和4年6月24日（金） 15：00-16：40 於：応接室

○構成員

臨床研究部長（委員長）、副院長、統括診療部長、事務部長、看護部長、垂谷教授（舞鶴工業高等専門学校 外部委員）、児玉教授（舞鶴工業高等専門学校 外部委員）、庶務班長

○議事

①人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針

（学会発表や論文投稿ほかにおいて遵守すべきこと）

当院における倫理指針とするための審査

・・・副院長 小松 博史

→承認

②脳腫瘍全国統計調査と解析（臓器がん登録調査）

・・・統括診療部長 井上 靖夫

→条件付き承認

（意見）

・オプトアウトは代表研究施設では掲載されているが、当院でも行うこと。

③ADL低下予防のためにバーセルインデックス（以下BIとする）を活用した効果

・・・地域包括ケア病棟 看護師長 園田 有貴江

→条件付き承認

（意見）

・病棟スタッフが研究に関わっているので、共同担当者に記載すること。

・申請書が文章のみで説明されているため、資料としてBI、フローチャート、評価項目等を添付すること。

・オプトアウトを行い患者側が辞退する機会を設けること。

④病的多飲水の行動変容に向けたかかわり

・・・A-1病棟 看護師 神崎 祐也

→条件付き承認

（意見）

・引用文献の表記について、一つの文献内でページが異なる場合は、最初から最後のページまでを繋げて問題ない。

・患者への協力依頼文書について、辞退可能な期間が非常に短く設定されているため、発表までは辞退可能と変更すること。

・飲水の改善状況について数値を表記すると分かりやすい。

⑤強迫行為、不安によって生活に困難を抱える患者の対処行動獲得にむけて

・・・A-2 病棟 看護師 堀江 将汰

→条件付き承認

(意見)

- ・同意書について患者本人の署名は徴取されているが、患者本人の理解力が不十分であるため、代諾者にも署名を徴取すること。
- ・説明文書の責任者が師長名となっているが研究代表者とすること。あるいは、共同研究者に師長を追加すること。

⑥舞鶴医療センターで 2020 年度の 1 年間での緊急再入院患者の傾向

・・・地域医療連携室 看護師長 山口 栄子

→条件付き承認

(意見)

- ・オプトアウトを行い患者側が辞退する機会を設けること。
- ・申請書に医学的貢献度が記載されていないので、記載を行うこと。
- ・緊急入院した患者のみの調査であると単群になるため、予定再入院と緊急再入院した患者の両方を調査すれば比較が可能となる。
- ・抄録の結論部分で急にがん患者数が記載されており、前半部分との繋がりが読み取りにくい。
- ・研究期間は発表が終了するまでを含むので修正すること。

⑦安心・安全な療養環境のために～ピクトグラムの導入～

・・・看護部長室 看護師長 荒川内 涼子

→条件付き承認

(意見)

- ・アンケート回答率を明示することで、研究への信頼性が向上する。
- ・導入前後でのインシデント件数及びその内訳を示すと効果が分かりやすい。
- ・研究期間は発表が終了するまでを含むので修正すること。

⑧長期間使用されたベンゾジアゼピン受容体作動薬減量における安全性の高い睡眠薬追加の有効性に関する検討

・・・臨床研究部長 綾仁 信貴

→承認